

「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

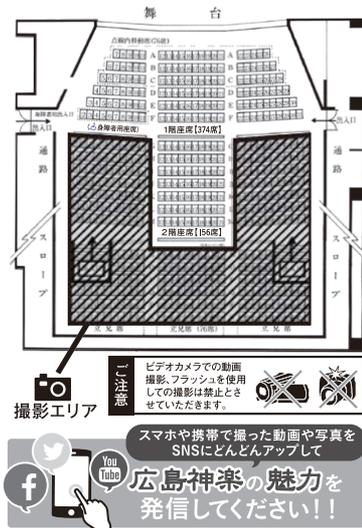
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について

→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



12月13日のタイムスケジュール

出演：あさひが丘神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『弓八幡』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『土蜘蛛』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念には是非ご参加下さい。

また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。

(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

あさひがおかぐらだん

あさひが丘神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

昭和62年に発足したあさひが丘神楽団は、「振興団地の中に郷土芸能を」という取り組みの一環としてスタートしました。

古き伝統の旧舞、新しい時代の新舞を伝承し、神楽奉納を通じて神楽に息づく思いを後世へと伝えていけるよう団員一同精進してまいります。

第一幕『弓八幡』(ゆみはちまん)

九州・豊前国宇佐の郡に鎮座する宇佐八幡は、武神として多くの武士たちの信仰を集めた御祭神として知られる人皇15代「応神天皇(誉田別気命)」です。その武威、威徳を讃えた神楽として知られ、「空高き自在天(他化自在天)の悪魔王」は、諸々の人民を殺しまわり、誉田別気が弓矢の威徳を以てこれを討ち平らげるとい物語です。

第六天とは、六層に連なる欲界の最下層。日本では、仏教の敵となる存在に対してつけられた蔑称として知られ、織田信長が自らを「第六天魔王」と称した事でも知られます。

この演目には、「門丸」と呼ばれる役どころが登場し、その滑稽な喋りで場を和ませますが、これは、民衆の表現であり、「神・人相和」の演目と言われ、数ある旧演目の中でも特異な位置づけとされています。

【出演】	大太鼓 … 小田 徹也	宇佐八幡 … 石橋 一樹
	小太鼓 … 山田 悠人	門丸 … 下田 敏則
	手打鉦 … 大城 祥矢	第六天魔王 … 古岡 和芳
	笛 … 安部 美沙季	

第二幕『土蜘蛛』(つちぐも)

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりすますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … ■ ■ ■ ■	源頼光 … 山田 悠人	胡蝶 … 小田 徹也
	小太鼓 … ■ ■ ■ ■	卜部季武 … 藤本 靖浩	土蜘蛛 … 山田 悠人
	手打鉦 … ■ ■ ■ ■	碓井太郎貞光 … 吉田 裕大	
	笛 … ■ ■ ■ ■		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。